

広報 なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶

議会の活動

令和8年(2026年)10月臨時号



「なごや子ども市会」

特 集 号

名古屋市会では、市内に在住・在学している小学5・6年生が、自分たちの住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めることを目的とした「なごや子ども市会」を7月25日(土)と8月4日(火)に開催しました。

今回の臨時号では、「なごや子ども市会」の様子を紹介します。



令和8年度 なごや子ども市会

メインテーマ

大好きな名古屋を
笑顔あふれるまちにしよう



市会ってなんだろう？

わたしが住む名古屋市を暮らしやすいまちにするために、市民の代表者として議員が話し合いをするところを「議会」といい、名古屋市では「名古屋市会」と呼ばれています。
そんな市会について勉強できる「なごや子ども市会」に参加して学んだことを、自由研究としてまとめてみました！

研究テーマ 行って分かった! 名古屋市会ってこんなところ!

議員が全員集まる会議を「**本会議**」といいます。本会議では、市民のために市が何をするかを話し合い、最終的な決定を行います。

議場(本会議場)



名古屋市の旗と国旗が飾られているよ。

議長席からは、議場のみんなの顔がとてもよく見えるよ!



議長席



天井は、格天井という名古屋城の本丸御殿でも使われている立派なつくりになっているよ。

昔は速記者さんが話し合いの内容を記録していたけれど、今は機械で録音しているみたい!



座る席にある机の一部は、昔に作られたものを大切に使い続けているんだって!



議場はいつできたの?

「議場」のある名古屋市役所本庁舎は、昭和8年(1933年)9月に完成したよ。その後、平成26年(2014年)12月に国の重要文化財に指定された歴史のある建物なんだ。

名古屋市の古い資料を保管している「市政資料館」に、完成した当時の写真が残っていて、いつでも見ることができるんだって!



▲市政資料館のご案内

議席が全部でいくつあるか知ってる?

今の議場が完成した当時の議員定数(議員の上限)は64人だったけど、将来議員が増えることを想定して、88人分の議席を作ったみたいだよ。

現在は68人分の議席が設置されていて、1番から69番までの議席番号が振られているんだ。ちなみに、議席は全部で68席なのに「69番」まで使われているのは、「42番(死に番)」を避けたからだと言われているよ。



▲昭和8年の完成当時の議場(名古屋市、クリエイティブ・コモンズライセンス表示 - 非営利 2.0 一般)

委員会室

机は馬のひづめのような形をしていたよ。



名古屋市には、とても多くの仕事があるので、本会議ですべてを話し合うことはできません。そこで、少人数でくわしく話し合う場所として「**委員会**」がつくられています。

市会には、6つの常任委員会があって、すべての議員がどこかの委員会に所属して、それぞれ専門的に話し合いを行っています。

このほか、特に必要な問題を調査するために設置した「**特別委員会**」や市会の運営方法を話し合う「**議会運営委員会**」があります。

議長室

議長室や大切なお客様をお招きする正副議長応接室を見学し、小出昭司議長・森とも副議長から説明を聞きました。

議長室には、姉妹友好都市の市旗が飾られているよ。



議長室

正副議長応接室



市会議員ってどんな人?

私たちが住む名古屋が暮らしやすいまちになるよう、選挙で選ばれた市民の代表として活動するのが市会議員です。市会議員の大きな仕事の一つは、市民から出された意見や要望を聞き、条例や予算について、市会で話し合いを行って、賛成なのか反対なのかを決めていくことです。また、市の仕事が正しく行われているかチェックしたり、市だけでは解決できない問題について、県や国に働きかけを行ったりもしています。

研究のまとめ

なごや子ども市会では、議会や教育委員会の仕事などについて学んだり、いつもはなかなか入れない議場や部屋に入って写真を撮ったりして、たくさん勉強することができました。

右の二次元コードからは、さらに詳しいことを学ぶことができます!

自分の住む名古屋についてもっと多くのことを知ることで、これから自分にどんなことができるか考えてみたいです!



キッズなごや▶

子ども議員のみなさんが感想や意見を発表しました

さんか
参加してみてもうどうだった?

様々な体験を通して、議員という将来の選択肢が増えました。

「なごや 子ども市会」の締めくくりとして、子ども市会に参加した感想や意見の発表を行いました。また、アンケートでも「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアをたくさんいただきましたので、一部を紹介します。

こういう議論する場がネットで配信されるということで、今度見てみようと思いました。

今日は歴史ある本物の議場に座ることができて、とても嬉しく思っています。今日説明で学んだことをきっかけに、学校の授業などでも活かしていきたいです。

いろんな人がこの名古屋市に関わっていて、いろんな人が名古屋市のために、私たちのために、一生懸命働いて頑張っていて、みんなが幸せになる名古屋市をつくらうとしているのが、とても素敵なことだと思います。



えがお
名古屋を笑顔あふれるまちにするために、どうしたらいいかな?

はくぶつかん かいしゅう
博物館を改修したように、昔からある市の施設を改修してほしい。

あいさつをする事だと思います。自分の声が聞こえるように大きな声であいさつをすると、された人も笑顔になると思います。

名古屋市のホームページに、本庁舎をバーチャル見学できるようなものをつくる。

日本の中でも特に愛知県は毎日暑いので、公園に屋根をつくって外遊びができるようにしてほしいです。ボール遊びができる公園もつくってほしいです。

陸前高田市と同じように、今回地震のあった熊本とも交流を持てるようになれるといいなと思います。地域対抗で何かゲームみたいなものをして交流するいいなと思います。

議長、副議長から子ども議員へのメッセージ

子ども議員の皆さん、夏休みの貴重な1日に、なごや子ども市会にご参加いただきありがとうございました。

子ども市会では、名古屋市の役割や、皆さんが通う小学校に関する仕事をしている教育委員会、名古屋市と陸前高田市・姉妹友好都市との交流などについて学んでいただきました。この子ども市会での体験が、みなさんの将来や自分たちの住む名古屋について少しでも考えるきっかけとなり、そして、名古屋のまちと皆さんの明るい未来につながることにできればとてもうれしいです。

また、「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデア、陸前高田市と名古屋市の交流のアイデア、子ども市会に参加した感想などをたくさんいただきました。これらの真剣なご意見、名古屋に対する大変熱い思い、しっかりと心に受けとめさせていただいて、名古屋をもっと素晴らしいまちにしていきたいと改めて決意いたしました。子どもたちみなさんは、名古屋の宝です。本当にありがとうございました。

8月26日(水)に子ども向け夏休み特別企画を実施しました!



議場内を自由に見学し、たくさん写真を撮影しました▶



▲開会前に当日の本会議の内容や、傍聴のルールについて学びました

本会議を傍聴する様子▶



議長・副議長から議場についての説明などを聞きました

今年度は夏休み期間中に8月定例会が開会される機会をとらえ、市内在住の小学5・6年生向けに特別企画を実施しました。特別企画に参加されたみなさんは、実際に本会議を傍聴した後、議場内で思い思いに写真を撮りました。その後、小出昭司議長、森とも副議長から議場についての説明などを聞き、最後に集合写真を撮りました。ご参加いただきありがとうございました。